

令和5年度 第(2)回議事録

(F) グループ年間テーマ: 言葉の抑制の現状と取り組み

令和 5 年 9 月 9 日提出

開催日	令和 5 年 9 月 9 日 (土)		
開催場所	九州大学医学部百年講堂		
出席者 (敬称略)	天野 久子	内野 竜一	江藤 貴久美
	金澤 久美子	秦 裕美子	中村 裕美
記録者名	江藤 貴久美		
テーマ			
結 論	どの病院でもスピーチロックは必ず使っている。コロナ下で、互いのストレスが強くなっているため、さらに口言葉が強くなっている。		
決定事項	次回でできる範囲でのスピーチロックに対する認識をそれぞれ書き出してくる。 具体的に使用しているスピーチロックを出し、その言葉に対し、置き換え言葉を考える。		
備 考			
次回討論項目	決定事項を各病院で調査する。		

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-Mail: jimukyoku@famcf.jp Fax: 092(725)3219